

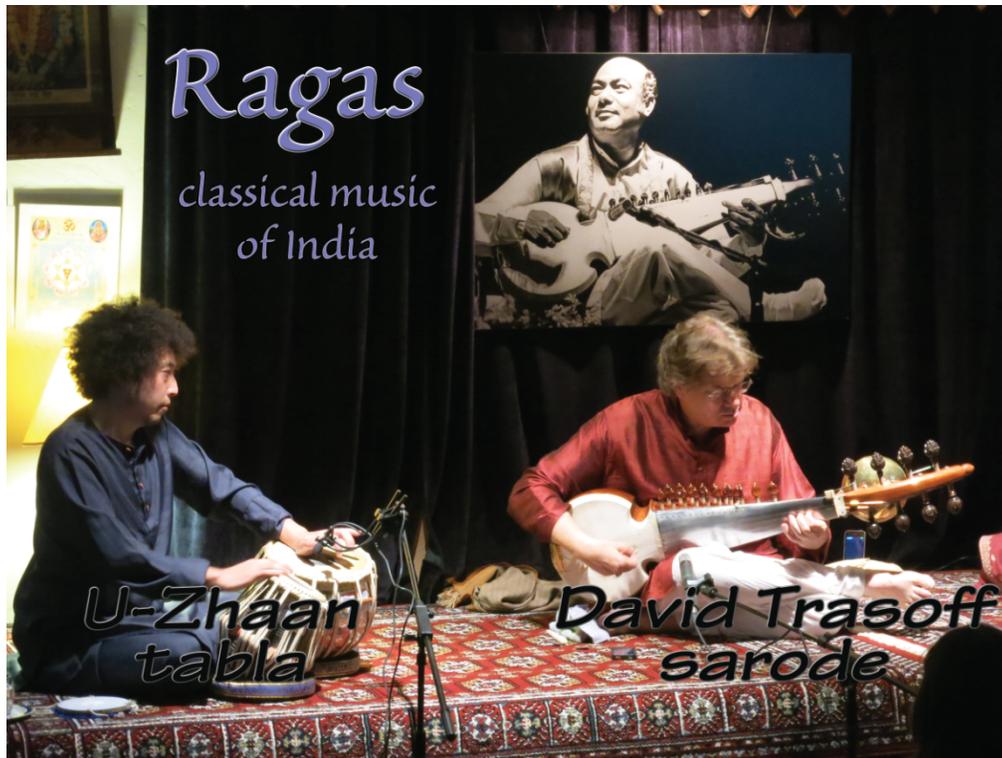
音楽学部特別講座

＜サロードとタブラによるレクチャー・コンサート＞

北インド古典音楽の^{旋法}ラーガと^{リズム型}ターラ入門

2014年5月13日（火）18～20時

東京芸術大学音楽学部5号館109教室



デイヴィッド・トレイソフ（アメリカ） — サロード（弦楽器）演奏とお話し

故アリ・アクバル・カーンの弟子として、1973年よりサロード演奏と北インド古典音楽を学ぶ。合衆国およびインドにおける演奏で好評を得、以来、合衆国、ヨーロッパ、アジアのアート・センター、大学、専門学校、フェスティバル等のコンサートで演奏を行うほか、インド演奏ツアーも幾度となく行っている。カリフォルニア大学サンタバーバラ校で博士号、カリフォルニア芸術大学で音楽芸術修士号を取得。カリフォルニア大学サンタバーバラ校のインド音楽アンサンブルのディレクター、またカリフォルニア芸術大学、カリフォルニア大学リバーサイド校、カリフォルニア州立大学サン・マルコス校、ポモナ大学、及びロッテルダム音楽院コダーツ・プログラムで指導の経験を持つ。

ユザーン（日本） — タブラ（太鼓）演奏

オニンド・チャタルジー、ザキール・フセインの両氏からインドの打楽器「タブラ」を師事。'00年よりASA-CHANG&巡礼に加入し、『花』『影の無いヒト』など4枚のアルバムを発表。'10年に同ユニットを脱退後に、U-zhaan × rei harakamiとして「川越ランデヴー」「ミスターモーニングナイト」等を自らのサイトから配信リリース。salmon cooks U-zhaanの名義でも同サイトより3枚のアルバムを配信。その他yanokami、七尾旅人、UA、HIFANA、大橋トリオ、小室哲哉など数多くのアーティストの作品にもタブラ奏者として参加している。 <http://u-zhaan.co>